



JABLAS NEWS

発行日 2015. 12. 3

目次

法人名変更を機に	2
RMA 代表理事/JABLAS 会会長 井口新一	
RMAへの期待	3
公益財団法人日本適合性認定協会	
専務理事 久保 真 様	
ISO/IEC 17025 規格改定について	4
委員/RMA 代表理事 井口 新一	
JAB 最新情報.....	5
実施セミナー/研究会/見学会	
(8月～11月)	6
セミナー/見学会 アンケート結果	
(8月～11月)	7



法人名変更を機に

一般社団法人 RMA 代表理事

JABLAS 会会長

井口 新一

会員の皆様におかれましては、平素より私どもの活動に絶大なご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

一般社団法人 RMA へ。

ご案内のとおり、2009年4月1日に創設された JAB 試験所協議会 (JABLAS) は、2013年4月1日に一般社団法人 JAB 試験所協議会 (JABLAS) として法人化を行い社会的な立場を明確にいたしました。さらに、本年9月1日には法人名を一般社団法人 RMA (アールエムイー) に変更させていただきました。

ISO を基盤とした適合性評価制度の確固たる地歩を築く。

法人名を変更することは、これまで長らく馴れ親しんでいた名称を変更することであり、法人として大きなリスクを背負うことであるということをも十分認識しております。それでも会員の皆様への諸サービスを充実し、さらに認定試験所の社会的な認知度を向上させるために ISO を基盤とした適合性評価制度の市場での確固たる地歩の獲得と一層の普及を進めることを主な目的として法人名の変更を行わせていただいた次第です。

会員皆様の期待にお応えする。

お陰様で今日、RMA は機関会員 122 機関、個人会員 92 名に参加していただいている組織にまで成長いたしました。この会員皆様の期待にお応えし、皆様の活動をより積極的に支援させていただくことが RMA の使命である事は今後も何ら変わるものではありません。むしろこの使命を RMA は皆様と共にもっと力強く推進していかなければならないと考えております。このためには、セミナーの開講、勉強会や研究会の開設或いは異業種交流の意味をもつ試験所見学会など、RMA の事業企画における基本方針を再認識しておきたいと考えております。

信頼性マーケティングを支える三つの要素を法人名に。

その基本方針は、JABLAS としても数年来標榜してきました「信頼性マーケティング」であり、この信頼性マーケティングを支える三つの要素である信頼性、マーケティング及びアカウンタビリティです。

新法人名「RMA」はこの三つの要素の頭文字を取っていることは「法人名の変更に関するお知らせ」ですでに述べさせていただいておりますが、再掲させていただきます。

R : Reliability (リアイアビリティ) : ISO に基づく信頼性を訴求する

M : Marketing (マーケティング) : 信頼を市場につなぎ、市場での優位性を確立する

A : Accountability (アカウンタビリティ) : 透明性を確保し常に客観的に説明できる

今後も RMA は、会員皆様の認定取得や認定の維持に関して、これまで以上に質の高いサービスの提供に努めてまいります。さらに上述の三つの要素を念頭においたセミナーの開講などイベントを積極的に企画していきたいと考えております。

アンケートのご協力有難うございます。

この新たな企画検討に資するため先日「RMA の活動及び JABLAS 会の今後について」のアンケートをお願いしたところですが、多くの会員の皆様からの回答をいただきました。誠にありがとうございました。いただきました回答を基に今後の活動検討を行い、会員の皆様の活動により有益な情報提供ができるサービスを開始していきたいと考えております。

例えば、JABLAS 会のなかに会員共通の関心が高い事項、或いは共通の課題などを扱う検討部会 (仮称) の設置なども検討しております。さらにアジア各国の認定試験所等と情報交換を行う場として、アジア認定試験所国際会議 (仮称) の開催も計画していきたいと考えています。

これらの新たな試みが、従来からのサービスと相まってより効果的、効率的な認定の維持・運用と RMA 会員としてのメリット享受につながるようしっかりと議論・検討を進めていく所存です。

これまで JABLAS に寄せていただいた皆様からのご協力に感謝いたしますと共に、今後もこれまで同様に RMA へのご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

末筆になりますが、会員の方々をはじめ、ご支援を頂いています機関・企業様の更なるご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

RMA への期待

公益財団法人 日本適合性認定協会 (JAB)

専務理事・事務局長 久保 真

本年 9 月、JABLAS 協議会が RMA と改称され、新たなスタートを切られたことを、まずもってお慶び申し上げます。

日本語組織名やその略号ではなく、組織の価値観とも言うべき「信頼性マーケティング」の要素である R(Reliability)、M(Marketability)、A(Accountability)を表すというとてもユニークで、素晴らしい組織名と思います。

2009 年の設立以来の組織名から JAB の文字が消えたことは一抹の寂しさを感じるものではありませんが、これを機会に RMA として従来以上の幅広い活動が展開され、適合性評価を利用される会員の皆様にとって大きなメリットをもたらすものと期待しております。

国内の適合性評価制度の現状は、リーマンショック以降の景気後退等により、マネジメントシステムの認証数は減少、試験所認定数も伸び悩みが見られましたが、近年の景気回復もあり、マネジメントシステム認証の減少も下げ止まっており、また国を中心に、先端技術製品、医療や食品分野での適合性制度の活用が徐々に増加してきており、特に ISO 15189 による臨床検査室認定は大きく増加しつつあります。

一方、ISO 9001、ISO 14001 の規格が今年 9 月に改訂され、より事業活動に組み込まれる形で活用しやすい規格となり、組織自身にとって有益な成果が得られるとともに、顧客をはじめとする利害関係者が認証されているかを見て組織を評価する認証の利用も拡大されることが期待されます。また 2020 年オリンピックの東京開催が決まりましたが、ロンドンでのイベントサステイナビリティマネジメントシステム (ISO 20121) を活用した持続可能なイベント運営の成功により、来年のリオデジャネイロでも、さらに東京においても、環境的・経済的に持続可能なオリンピック運営が企図されています。JAB としても東京オリンピックの運営において、様々な領域で認定・認証を活用していただく好機と捉え、昨年発足した事業企画部が中心となり、制度活用の働きかけを開始しています。

適合性評価制度の普及、利用拡大を進める上で大切なことは、制度が信頼されるものであることが第一で、認定・認証を取得した組織、また行政、購買者、一般消費者など認定・認証の結果を利用される方々にとって、認定・認証のメリットを享受できるものであることです。

その意味で、新生 RMA の「信頼性マーケティング」というコンセプトに基づく活動を通じて、会員組織の皆様がより多くのグッドプラクティスを生み出し、それを先行事例として世に発信して頂ければ、更なる適合性評価制度の発展につながるものとなるでしょう。

JAB といしましては、同じ適合性評価制度を担う良きパートナーとして、制度を通じて安全・安心な社会と日本産業の発展に貢献すべく、RMA との協力を一層強めていきたいと考えていますので、RMA 並びに会員の皆様の従来に増してのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます

ISO/IEC 17025 規格改正について（1）

ISO/IEC 17025 対応 WG 担当

RMA 井口 新一

ISO/IEC 17025 が現在改正作業中であることは、皆様ご案内の通りです。

今回の改正は、今年 2 月に ISO/CASCO(*1)に検討のための WG44 が設置されて開始されました。この設置に併せて、日本規格協会(JSA)を事務局として国内対応 WG (ISO/IEC 17025 対応 WG) が設置され、2 月 27 日に第一回の会議を持っています。RMA (当時は JABLAS) はこの国内対応 WG メンバーに指名され、それ以降この WG 会議に参加しております。

2015 年 2 月から 9 月までの間、WG44 では主として改正する ISO/IEC 17025 の規格構造 (章立て) や規格に書き込むべき概念などが議論されてきました。

規格構造の検討では、ISO 規格開発者が従うべき ISO 指針「ISO/IEC 専門業務用指針 補足指針」の付属書 SL が改定作業の一つの指針となっています。この付属書 SL は、ISO が開発する数多くのマネジメントシステム規格に一貫性を持たせる目的で設定されました。ISO/IEC 17025 はマネジメントシステム規格ではありませんが、規格改正にあたってはこの付属書 SL、特に SL 9 付属にある「上位構造」が強く参考にされたのではないかと思います。従って、委員会ドラフト CD1(Committee draft 1) をご覧になられた方々のご理解されると思いますが、CD1 の章立ては現在の ISO/IEC 17025:2005 と大きく変わっています。この付属書 SL (2015 年第 6 版) の詳細内容は次の日本規格協会のウェブサイト

http://www.jsa.or.jp/wp-content/uploads/isohosoku_taiyaku_ed6_rev.pdf

から対訳版を入手できますので、ご興味のある方はご覧ください。

WG44 での 6 ヶ月余りの議論の末、CD1 が 9 月下旬にまとめられ、CD1 に対する賛否の投票が行われています。RMA の会員の皆様からも改正規格の適用に関する調査 (サンプリング以降の試験や校正業務を行わない組織に対する ISO/IEC 17025 適用の可否) 回答並びに CD1 に対するコメントをいただきました。ご協力誠にありがとうございました。皆様からの回答とコメントは、国内 ISO/IEC 17025 対応 WG に提出し、11 月 13 日には第 4 回 ISO/IEC 17025 対応 WG が開催されて日本としての調査回答とコメントの整理がなされました。

その結果、日本としては調査事項「サンプリングだけを行う組織に対する ISO/IEC 17025 適用」は、「反対“NO”」を投票することが確認されました。

一方、CD1 については、国内からのコメントを整理したことに留め、日本として賛否どちらに投票するかは、ISO/IEC 17025 対応 WG の主査並びに WG44 に出席する二人のエキスパートに一任されました。この背景は、「賛成」票を投じた場合は、提出されたコメントは基本的には次回改正の参考とすることで、今回改正の資源とはされないこと、一方、賛成多数であっても余りにも多くのコメントが寄せられた場合は、規格開発グループの決定で、CD1 を再度検討段階に戻すこともあり、賛否投票の決定は純粋技術論では簡単には結論に達し得ない事によります。

大方の予測では、CD1 は更に検討されて CD2 が再度投票にかけられるのではないかと言うことのようにです。

現在想定されている規格開発予定は次の様になっています。これはあくまでも予定であって、規格内容の検討進捗状況によっては、この予定よりも遅れる可能性が十分あります。

2015 年 11 月： CD1 投票終了

2016 年 3 月： CD2 投票開始

2016 年 5 月： CD2 投票終了

2016 年 8 月： DIS(Draft International Standard) 投票開始

2016 年 12 月： DIS 投票終了

2017 年 4 月： FDIS(Final Draft International Standard) 投票開始

2017 年 6 月： FDIS 投票終了

2017 年 8 月： 改正 ISO/IEC 17025 発行

今回の JABLAS NEWS では、現在議論されている改正 ISO/IEC 17025 の要点についてご報告する予定です。

(*1) ISO/CASCO : ISO の適合性評価委員会 (CASCO : Committee on Conformity Assessment) 。CASCO は ISO の中に三つある政策開発委員会の一つで、適合性評価の原則と実施に関する事項を扱う。

JAB 最新情報

(I) JAB RL352:2016 第 9 版 「『認定の基準』についての指針—電磁両立性試験」が発効されます。

(<http://www.jab.or.jp/files/items/5074/File/RL3522016oshirase.pdf>)

【第 8 版からの主な改正点】

30MHz 以下の磁界強度測定の不確かさは、現在のところ厳密な推定が困難であるので不確かさの推定を要しないこととした。(5.4.8 項)

【発行日及び適用日】

2016 年 1 月 1 日

(II) JAB RL200:2016 第 14 版 「認定を受けるための手順及び権利と義務(試験所・校正機関)」が発行されます。

(<http://www.jab.or.jp/files/items/5075/File/RL2002016V14oshirase.pdf>)

【第 13 版からの主な改正点】

- ・拡大の定義変更(10km 以下の事業所追加は対象外)(3.9 項)
- ・更新認定開始日は機関の希望により遅らせることができることとした(4.2 項)
- ・認定取り消しを受けた機関からの再申請は認めないことがあると規定(5.1.2.1 項)
- ・最終会議で審査報告書を機関に提出することを明記(5.7.1 項)
- ・更新の是正回答は「認定委員会付議できるように」ではなく、「認定決定できるように」、に変更(5.7.2.1)
- ・認定の決定は本協会が指定した要員も行うことを追加(5.8.1 項)
- ・最終報告書記載事項から「終了時の会議で当該申請機関に提示した情報との相違の説明」を削除(5.8.1 i)項)
- ・サーベイランス実施時期は原則であることを明記(5.9.2.1.2 項)
- ・ILAC MRA 複合シンボルの使用条件変更(6 b)項)
- ・認定の辞退、縮小について悪質な場合は取り消すことを明記(7.2 m)項)

【発行日及び適用日】

2016 年 1 月 1 日

(III) JAB RL205:2015 第 68 版 試験所・校正機関の認定範囲分類が発行されました。

(<http://www.jab.or.jp/files/items/5078/File/RL2052015V68.pdf>)

【第 67 版からの改定箇所】

JAB RL205:2015 第 68 試験所・校正機関の認定範囲分類 [加除修正版] をご参照ください。

(<http://www.jab.or.jp/files/items/5078/File/RL2052015V68-1.pdf>)

【発行日及び適用日】

2015 年 12 月 10 日

(IV) 試験所等認定審査員及び技術専門家候補者の募集中。

応募詳細については募集要項

(<http://www.jab.or.jp/about/basic/recruit/judges.html>)をご確認ください。

【応募期限】

2015 年 12 月末日

実施セミナー / 研究会 / 見学会 (8月～11月)

【セミナー】

8月5・6日 (水・木)

第 2 回食品試験所のための内部監査員養成セミナー 2 日 (東京)

9月2・3日 (水・木)

第 29 回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー 2 日 (東京)

10月6日 (火)

これで納得！ 2015 GUM 不確かさセミナー (東京)

10月13日 (火)

これで納得！ 2015 GUM 不確かさセミナー (大阪)

10月22日 (木)

第 5 回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用方法」を発見する (東京)

10月28日 (水)

第 5 回楽しく遊び感覚で「不確かさの活用方法」を発見する (名古屋)

11月5・6日 (木・金)

第 4 回演習型 内部監査リーダー養成セミナー 2 日 (東京)

11月13日 (金)

第 4 回マイクロピペットによる精度管理セミナー

11月18日 (水)

I S O 9001 : 2015 規格対応セミナー / 品質を高める測定とは
(東京)

11月19日 (木)

微生物試験におけるバリデーションと不確かさセミナー (東京)

【リスク研究会】

10月15日 (木)

トータル・リスクマネジメント (午後/半日) (東京)

11月13日 (金)

成長戦略のためのリスクマネジメント (午後/半日) (東京)

【見学会】

9月29日 (火)

第 14 回試験所見学会 … 日本消防検定協会



セミナーで頂いたアンケート集計

第2回食品試験所のための内部監査員養成セミナー アンケート集計

実施日時: 2015/8/5・6 5日 10:00~18:00(受付9:45~)、6日 10:00~18:00

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3普通	2	1.難しかった	無回答	合計
回答率(%)	67%	17%	17%	0%	0%	0%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5 役に立った	4	3普通	2	1.立たなかった	無回答	合計
回答率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1.認定申請の準備	2.内部監査員資格取得	3.内部監査の知識習得	4.その他	無回答	合計
回答率(%)	0%	29%	57%	14%	0%	100%

4. 本説明会の実施情報はどこでお知りになりましたか

回答数

JABLASからの情報(メール)	14名
JABLAS(Web)	29名
社内で情報展開があった	57名
JABからの情報(メール)	0名
その他	0名
無回答	0名
	100名

5. 今後のセミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3.どちらでもよい	2	1.不必要	無回答	合計
回答率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4.現状程度	3.よりやさしく	2.分野別	1.網羅的	無回答	合計
回答率(%)	17%	83%	0%	0%	0%	0%	100%

第二十九回ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(東京) アンケート集計

実施日時: 2015/9/2・3 2日 10:00~18:00(受付9:45~)、3日 9:30~17:00

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3普通	2	1.難しかった	無回答	合計
回答率(%)	22%	57%	13%	4%	4%	0%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5 役に立った	4	3普通	2	1.立たなかった	無回答	合計
回答率(%)	52%	39%	9%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1.認定申請の準備	2.内部監査員資格取得	3.内部監査の知識習得	4.その他	無回答	合計
回答率(%)	11%	51%	37%	0%	0%	100%

4. 本説明会の実施情報はどこでお知りになりましたか

回答数

JABLASからの情報(メール)	8名
JABLAS(Web)	16名
社内で情報展開があった	72名
JABからの情報(メール)	4名
その他	0名
無回答	0名
	100名

5. 今後のセミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3.どちらでもよい	2	1.不必要	無回答	合計
回答率(%)	70%	26%	4%	0%	0%	0%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4.現状程度	3.よりやさしく	2.分野別	1.網羅的	無回答	合計
回答率(%)	8%	76%	12%	4%	0%	0%	100%

第3回「マイクロペットによる精度管理」セミナー アンケート集計

実施日時: 2015/9/11 10:00~16:30(受付9:45~)

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3 普通	2	1. 難しかった	無回答	合計
回答率(%)	60%	40%	0%	0%	0%	0%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5 役に立った	4	3 普通	2	1. 立たなかった	無回答	合計
回答率(%)	90%	0%	10%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1. 認定申請の準備	2. 精度管理の理解	3. その他	無回答	合計
回答率(%)	0%	100%	0%	0%	100%

4. 本説明会の実施情報はどこでお知りになりましたか

回答数

RMA(旧JABLAS)からの情報(メール)	33名
RMA(旧JABLAS)(Web)	0名
社内で情報展開があった	58名
JABからの情報(メール)	8名
その他	0名
無回答	0名
	100名

5. 今後のセミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3. どちらでもよい	2	1. 不必要	無回答	合計
回答率(%)	80%	20%	0%	0%	0%	0%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4. 現状程度	3よりやさしく	2. 分野別	1. 網羅的	無回答	合計
回答率(%)	20%	70%	0%	0%	10%	0%	100%

これで納得! 2015 GUM不確かさセミナー(東京・大阪) アンケート集計

実施日時: 2015/10/6・13 10:00~17:00(受付9:45~)

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3 普通	2	1. 難しかった	無回答	合計
東京	66%	28%	3%	0%	3%	0%	100%
大阪	22%	67%	11%	0%	0%	0%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5 役に立った	4	3 普通	2	1. 立たなかった	無回答	合計
東京	72%	28%	0%	0%	0%	0%	100%
大阪	56%	44%	0%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1. 認定申請の準備	2. 不確かさの理解	3. その他	無回答	合計
東京	0%	90%	0%	10%	100%
大阪	14%	76%	0%	10%	100%

4. 当セミナーの実施情報はどこでお知りになりましたか

	東京	大阪	名
JABLASからの情報(メール)	100%	26%	名
JABLAS(Web)	0%	9%	名
社内で情報展開があった	0%	57%	名
JABからの情報(メール)	0%	9%	名
その他	0%	0%	名
無回答	0%	0%	名
	100%	100%	名

5. 当セミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3. どちらでもよい	2	1. 不必要	無回答	合計
東京	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%
大阪	72%	28%	0%	0%	0%	0%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4. 現状程度	3よりやさしく	2. 分野別	1. 網羅的	無回答	合計
東京	25%	53%	6%	9%	0%	6%	100%
大阪	16%	74%	0%	5%	0%	5%	100%

第5回楽しく・遊び感覚で「不確かさの活用方法」を発見する。セミナー(東京・名古屋) アンケート集計

実施日時: 2015/10/22・28 10:00~16:30(受付9:45~)

1. 参加の目的

	1 認定申請の準備	2 不確かさの学習	3 不確かさの活用	4 その他	無回答	合計
東京	0%	75%	13%	13%	0%	100%
名古屋	0%	83%	17%	0%	0%	100%

(複数回答あり)

2. 参加目的は達成できましたか

	5 達成できた	4	3 普通	2	1 出来なかった	無回答	合計
東京	14%	71%	14%	0%	0%	0%	100%
名古屋	50%	33%	17%	0%	0%	0%	100%

3. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3 普通	2	1 難しかった	無回答	合計
東京	57%	14%	14%	14%	0%	0%	100%
名古屋	50%	33%	17%	0%	0%	0%	100%

	東京	名古屋
RMAからの情報(メール)	14%	14% 名
RMA(Web)	29%	29% 名
社内で情報展開があった	43%	29% 名
JABからの情報(メール)	14%	14% 名
その他	0%	14% 名
無回答	0%	0% 名
	100%	100% 名 (複数回答あり)

5. 当セミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3 どちらでもよい	2	1 不必要	無回答	合計
東京	29%	71%	0%	0%	0%	0%	100%
名古屋	33%	67%	0%	0%	0%	0%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4現状程度	3よりやさしく	2分野別	1網羅的	無回答	合計
東京	11%	78%	11%	0%	0%	0%	100%
名古屋	29%	43%	29%	0%	0%	0%	100%

(複数回答あり)

「名古屋会場の感想」

受講生一人一人の実務に寄り添うような、問いかけやお声かけなど、日高先生のお心遣いが、随所に感じられる講習でした。仕事でノギスを使っている方は、ほとんどいませんでしたが、皆さん熱心に取り組み、何回かの実習の後、質量計を使用したの二人一組での実習では、全体の空気も和み、とても楽しそうでした。

第4回 演習型 内部監査リーダー養成セミナー(二日)(東京) アンケート集計

実施日時: 2015/11/5・6 初日 10:00~18:00(受付 9:45~) 二日目 9:30~17:00

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3普通	2	1難しかった	無回答	合計
回答率(%)	46%	38%	8%	0%	0%	8%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5役に立った	4	3普通	2	1立たなかった	無回答	合計
回答率(%)	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1 認定申請の準備	2 内部監査員資格取得	3 内部監査の知識習得	4 その他	無回答	合計
回答率(%)	0%	27%	73%	0%	0%	100%

4. 本セミナーの実施情報はどこでお知りになりましたか

	回答数
RMAからの案内メール	79% 名
RMAウェブサイト	14% 名
職場の上司・同僚から	0% 名
JABからの案内	0% 名
その他	7% 名
無回答	0% 名
	100% 名 (複数回答あり)

5. 今後のセミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3 どちらでもよい	2	1 不必要	無回答	合計
回答率(%)	85%	15%	0%	0%	0%	0%	100%

第4回「マイクロピットによる精度管理」セミナー アンケート集計

実施日時: 2015/11/13 10:00~16:30(受付9:45~)

1. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3 普通	2	1 難しかった	無回答	合計
回答率(%)	50%	50%	0%	0%	0%	0%	100%

2. 内容は役に立ちましたか

	5 役に立った	4	3 普通	2	1 立たなかった	無回答	合計
回答率(%)	80%	20%	0%	0%	0%	0%	100%

3. 参加の目的

	1 認定申請の準備	2 精度管理の理解	3 その他	無回答	合計
回答率(%)	10%	90%	0%	0%	100%

4. 本説明会の実施情報はどこでお知りになりましたか

回答数

RMA(旧JABLAS)からの情報(メール)	27名
RMA(旧JABLAS)(Web)	0名
社内で情報展開があった	64名
JABからの情報(メール)	0名
その他	9名
無回答	0名
100%名 (複数回答あり)	

5. 今後のセミナーの開催について

5-1. 必要性

	5 必要	4	3 どちらでもよい	2	1 不必要	無回答	合計
回答率(%)	60%	30%	0%	0%	0%	10%	100%

5-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4 現状程度	3よりやさしく	2 分野別	1 網羅的	無回答	合計
回答率(%)	27%	55%	0%	9%	0%	9%	100%

(複数回答あり)

ISO 9001:2015 規格対応/品質を高める測定とはセミナー

実施日時: 2015/11/18 10:00~16:30(受付9:45~)

1. 参加の目的

	1 認定申請の準備	2 不確かさの学習	3 不確かさの活用	4 その他	無回答	合計
回答率(%)	14%	57%	14%	14%	0%	100%

2. 参加目的は達成できましたか

	5 達成できた	4	3 普通	2	1 出来なかった	無回答	合計
回答率(%)	0%	50%	50%	0%	0%	0%	100%

3. 内容は理解できましたか

	5 理解できた	4	3 普通	2	1 難しかった	無回答	合計
回答率(%)	33%	33%	33%	0%	0%	0%	100%

4. 測定改善へのヒントがありましたか

	5 多くあった	4	3 少しあった	2	1 無かった	無回答	合計
回答率(%)	17%	33%	50%	0%	0%	0%	100%

5. 当セミナーの実施情報はどこでお知りになりましたか

回答数

RMAからの情報(メール)	0名
RMA(Web)	0名
社内で情報展開があった	83名
JABからの情報(メール)	0名
その他	17名
無回答	0名
100%名	

6. 当セミナーの開催について

6-1. 必要性

	5 必要	4	3 どちらでもよい	2	1 不必要	無回答	合計
回答率(%)	50%	33%	17%	0%	0%	0%	100%

6-2. 内容(複数選択可)

	5より深く	4 現状程度	3よりやさしく	2 分野別	1 網羅的	無回答	合計
回答率(%)	38%	25%	13%	25%	0%	0%	100%



JABは安心・快適な暮らしを支えます。

企業等が生み出す製品、サービス、試験、および検査をルール(規格や基準)に基づき評価することを「適合性評価」と呼びます。「適合性評価」は、グローバルな現在の社会において、私達が快適な社会生活を支えるために役立っています。



JABは日本で唯一の
総合認定機関です。

JABは適合性評価全般にかかわる業務実務的能力を認定する民間の認定機関です。(JAB認定対象)ISO 9001,14001をはじめとするマネジメントシステム認証機関、品質認証機関、製品認証機関、温室効果ガス排出量認証・検証機関、試験所、校正機関、臨床検査室、検査機関、標準物質生産者、試験試験提供者

公益財団法人
日本適合性認定協会
Japan Accreditation Board

〒141-0022東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル3階
TEL 03-3442-1210 FAX 03-5475-2780
<http://www.jab.or.jp>

著作権は執筆者、所有権はRMAに有ります。

RMAに許可なく使用・転載・コピーを禁じますが、会員様の組織内ではご自由にご閲覧下さい。

RMA事務局は12月26日～1月3日までお休みさせていただきます。

発行／一般社団法人RMA(旧JABLAS)東京都品川区東五反田1丁目22-1五反田ANビル3F

電話 03-5798-8820 Fax 03-5798-8821 メール jimukyoku@rma.tokyo <http://rma.tokyo>